

インマヌエル中目黒キリスト教会 2017年11月26日聖日第二礼拝

聖日礼拝

「わたしにもキリストの心を」

ピリピ人への手紙

2章5節～11節

梅田登志枝牧師

聖書朗読

新約聖書

ピリピ人への手紙

2章5節～11節

聖書本文は新改訳聖書第三版
(©新日本聖書刊行会)を使用しています

第二版の聖書は 352 ページ

第三版の聖書は 384 ページ

- 5 あなたがたの間では、そのような心構えでいなさい。それはキリスト・イエスのうちにも見られるものです。
- 6 キリストは神の御姿である方なのに、神のあり方を捨てられないとは考えず、
- 7 ご自分を無にして、仕える者の姿をとり、人間と同じようになられました。人としての性質をもって現れ、
- 8 自分を卑しくし、死にまで従い、実に十字架の死にまでも従われました。

- 9 それゆえ神は、この方を高く上げて、すべての名にまさる名をお与えになりました。
- 10 それは、イエスの御名によって、天にあるもの、地にあるもの、地の下にあるもののすべてが、ひざをかがめ、
- 11 すべての口が、「イエス・キリストは主である」と告白して、父なる神がほめたたえられるためです。

説教

聖日礼拝

「わたしにもキリストの心を」

ピリピ人への手紙

2章5節～11節

梅田登志枝牧師

初めに



ピリピ人への手紙 2章 5 節について

新改訳2017 ピリピ 2章5節

「キリスト・イエスのうちにあるこの思いを、あなたがたの間でも抱きなさい。」

最新版聖書では翻訳が変更されました

使徒パウロは1～4節の「教会内の一致」のために、イエス様を模範とするようにと5節へと話を進めている。

・「キリストの心」とはどのような心か？

A．放棄する心(6節) = 謙遜

「固執しない心」、こだわりからの解放

B．自己否定の心(7節) = 奉仕

「ご自分を無にして、仕える者の姿をとり、人間と同じようになられました。人としての性質をもって現われ」

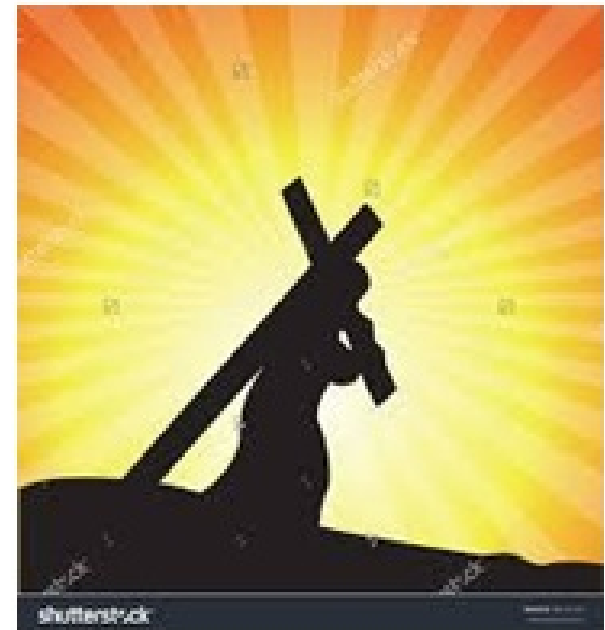
自分の当然の権利を不当に主張しないこと。



・ 「キリストの心」とはどのような心か？

C . 服従の心(8 節) = 忠実さ(最後まで)

「自分を卑しくし、死にまで従い、実に十字架の死にまでも従われました」。



・ 神からの報いとはどのようなものか
(9 ~ 11 節)

A . 罪からの救い

主の自己放棄、服従のご生涯と
十字架の死によって

B . 神の同行と支え

戦いや苦労の中にあっても

結論 .

今日は、「私にもキリストの心を」との題でお話をした。

- 1 . 主キリストの心と私の心では次元もレベルも全く違う。
- 2 . 限界のある弱い信仰者でも、この謙遜に徹して歩まれたキリストが私たちのうちに住んで下さる。
- 3 . 「私にもキリストの心を」という祈りをもって主のお姿を目指して成長し続ける者でありたい。